

# 男女共同参画に関する作品審査結果 一行詩部門

たくさん応募ありがとうございました。(入賞者 敬称略)

## 一般の部 (応募総数64点)

**入選** 廣部 公子(沼木)  
畑では  
父さんも母さんも  
同じだね  
手を取り合って農作業  
家の中でも同じなら  
もっともっといいのになあ!

**優秀賞** 加藤 桂子(商館)  
仕事する結婚もする子育ても  
二人の未来は二人で築く

**入選** 鈴木 孝三(藤王半郷)  
難しくない力まずに  
これまでと同じ二人三脚で  
共同参画すめよう

**入選** 伊藤 美佳(双葉町)  
行けない夫の名前をやめた  
保護者は私  
やるのも私  
代理じゃない主役の私

**入選** 鈴木 美穂(藤王成沢)  
まぶしい笑顔で  
「一緒にどう?」なんて。  
断れなくなっちゃいます。  
協力したくなりますよ

**入選** 成見 七緒子(仙台市若林区)  
「子育てを楽しみたい」と  
一年の育休取ったよパパさんは  
ママさん職場に全力投球

**入選** 渡辺 敬友(あずま町)  
ママは肉ジャガ、パパシチュー  
娘バスタに、息子自玉焼  
我家はみんな料理人

**入選** 小川 奈桜(日本大学山形中学校一年)  
見たいな  
一人ひとりが明るい家庭を持ち  
お互い尊重し合う所  
これが世界の「当たり前」になり  
「差別」という言葉が  
世の中からなくなること  
一人ひとり意識を変え  
みんなで踏み出そう 理想の世界へ第一歩

**入選** 遠藤 美紀(山寺中学校三年)  
私の一番好きな料理  
それは、  
父の作る「肉じゃが」

**入選** 五十嵐 茉美(第十中学校三年)  
男と女の間に引かれてる  
差別の線を平等という消しゴムで  
消してみない?

**入選** 安達 菜摘(日本大学山形高等学校二年)  
「やってごらん」と言って  
背中をおしてくれる母  
だまって見守る父  
表現はちがうけど  
根っこは同じ  
心地いい共同参画

**入選** 石井 祐太(山形中央高等学校一年)  
変わろう  
自分から  
共存し合える  
人間へ

**入選** 山本 萌(山形大学附属中学校三年)  
あなたと一緒に  
歩くとき  
後ろじゃなくて  
隣と一緒に  
歩きたい

**入選** 志貴 理沙(第四中学校三年)  
男は女になれない  
女は男になれない  
だからこそ  
男も女も協力して  
生きていく

**入選** 萩原 誠(第一中学校三年)  
意識は誰でも変えられる  
男女の壁は誰でも越えられる  
さあ、いまからはじめよう  
みんなの勇気とやさしさで

**入選** 花輪 さおり(山形商業高等学校三年)  
母が言った言葉  
「昔は男子が家庭料を  
勉強するなんてなかったなあ」  
なんだか少し  
嬉しくなった

**入選** 前田 友紀(山形商業高等学校三年)  
人には向き不向きが  
あるかもしれない。  
でも「男だから」  
「女だから」  
片付けないでほしい。

**入選** 渡邊 沙瑛子(山形金附属中学校三年)  
尊重しあおう  
お互いの気持ちを  
信頼しあおう  
共に生きてきたのだから  
男女でつくる  
新しい未来のために

**佳作** 佐藤 宗一(第一中学校二年)  
僕を支える君がいる  
君を支える僕がいる  
みんながみんなを支えている  
そんな未来を築きたい  
そんな願いを叶えたい

**佳作** 佐藤 洋子(第五中学校二年)  
私の手とあなたの手を合わせれば  
太陽までもかこむ  
大きな輪となる

**佳作** 鈴木 千春(第三中学校三年)  
個性を伸ばし  
能力を発揮し  
自分なりに  
社会参画・家庭参画

**佳作** 加藤 茜(第八中学校三年)  
笑っているお父さんも  
笑っているお母さんも  
好き、  
みんなが笑っている世界は  
もっとうき、  
そんな社会は  
もうすぐはじまる

**佳作** 逸見 祐夏(山形中央高等学校二年)  
社会を変えるって難しい  
けれど難しいといって  
不平等な社会じゃダメだと思っただ  
一人一人が協力して意識すれば  
社会はきっと変わる!!

**佳作** 高橋 未季(第四中学校三年)  
相手を思い合っ  
て  
おたがいの良い所を見つけて出すの  
すばらしい社会を造りだす  
第一歩だよ

**佳作** 竹田 眞(山形大学附属中学校三年)  
男女なんて関係ない  
適材適所  
やりたい人がやりたい仕事を  
できる人ができる仕事を  
自由に選べる  
そんな社会になってほしい

**佳作** 新関 瑛莉子(第一中学校二年)  
男だから  
女だから  
男でも  
女でも  
のほろがいいよね

**佳作** 三宅 智貴(金井中学校三年)  
男子しかできないものは何?  
女子しかできないものは何?  
それは、何もない。  
男子も女子も何でもできる

## 中学・高校の部 (応募総数1744点)

**最優秀賞** 山本 萌(山形大学附属中学校三年)  
あなたと一緒に  
歩くとき  
後ろじゃなくて  
隣と一緒に  
歩きたい

**優秀賞** 石井 祐太(山形中央高等学校一年)  
変わろう  
自分から  
共存し合える  
人間へ

**入選** 安達 菜摘(日本大学山形高等学校二年)  
「やってごらん」と言って  
背中をおしてくれる母  
だまって見守る父  
表現はちがうけど  
根っこは同じ  
心地いい共同参画

**入選** 五十嵐 茉美(第十中学校三年)  
男と女の間に引かれてる  
差別の線を平等という消しゴムで  
消してみない?

**入選** 遠藤 美紀(山寺中学校三年)  
私の一番好きな料理  
それは、  
父の作る「肉じゃが」

**入選** 小川 奈桜(日本大学山形中学校一年)  
見たいな  
一人ひとりが明るい家庭を持ち  
お互い尊重し合う所  
これが世界の「当たり前」になり  
「差別」という言葉が  
世の中からなくなること  
一人ひとり意識を変え  
みんなで踏み出そう 理想の世界へ第一歩

**入選** 齋藤 俊英(山形東高等学校一年)  
子どもにできて  
何故  
大人ができない  
男女共同参画社会

**入選** 志貴 理沙(第四中学校三年)  
男は女になれない  
女は男になれない  
だからこそ  
男も女も協力して  
生きていく

**入選** 萩原 誠(第一中学校三年)  
意識は誰でも変えられる  
男女の壁は誰でも越えられる  
さあ、いまからはじめよう  
みんなの勇気とやさしさで

**入選** 花輪 さおり(山形商業高等学校三年)  
母が言った言葉  
「昔は男子が家庭料を  
勉強するなんてなかったなあ」  
なんだか少し  
嬉しくなった

**入選** 前田 友紀(山形商業高等学校三年)  
人には向き不向きが  
あるかもしれない。  
でも「男だから」  
「女だから」  
片付けないでほしい。

**入選** 渡邊 沙瑛子(山形金附属中学校三年)  
尊重しあおう  
お互いの気持ちを  
信頼しあおう  
共に生きてきたのだから  
男女でつくる  
新しい未来のために

**佳作** 佐藤 宗一(第一中学校二年)  
僕を支える君がいる  
君を支える僕がいる  
みんながみんなを支えている  
そんな未来を築きたい  
そんな願いを叶えたい

**佳作** 佐藤 洋子(第五中学校二年)  
私の手とあなたの手を合わせれば  
太陽までもかこむ  
大きな輪となる

**佳作** 鈴木 千春(第三中学校三年)  
個性を伸ばし  
能力を発揮し  
自分なりに  
社会参画・家庭参画

**佳作** 加藤 茜(第八中学校三年)  
笑っているお父さんも  
笑っているお母さんも  
好き、  
みんなが笑っている世界は  
もっとうき、  
そんな社会は  
もうすぐはじまる

**佳作** 逸見 祐夏(山形中央高等学校二年)  
社会を変えるって難しい  
けれど難しいといって  
不平等な社会じゃダメだと思っただ  
一人一人が協力して意識すれば  
社会はきっと変わる!!

**佳作** 高橋 未季(第四中学校三年)  
相手を思い合っ  
て  
おたがいの良い所を見つけて出すの  
すばらしい社会を造りだす  
第一歩だよ

**佳作** 竹田 眞(山形大学附属中学校三年)  
男女なんて関係ない  
適材適所  
やりたい人がやりたい仕事を  
できる人ができる仕事を  
自由に選べる  
そんな社会になってほしい

**佳作** 新関 瑛莉子(第一中学校二年)  
男だから  
女だから  
男でも  
女でも  
のほろがいいよね

**佳作** 三宅 智貴(金井中学校三年)  
男子しかできないものは何?  
女子しかできないものは何?  
それは、何もない。  
男子も女子も何でもできる

## TOPICS 1


# 「男女共同参画講師派遣事業」を実施しました。

平成19年度実施した「講師派遣事業」の状況をお知らせします。


この事業は、企業や事業所などで実施される従業員等を対象とした男女共同参画に関する講演や研修会等に対し、市が講師等を派遣するものです。

今年度は以下の2つの事業が行われました。

■ 9月28日(金) 山形日紅株式会社  
■ 講演：  
セクハラについて  
■ 講師：堀野 隆弘 氏



■ 11月6日(火) 独立行政法人雇用・能力開発機構山形センター  
■ 講演：  
セクシュアルハラスメントの  
防止等について  
■ 講師：堀野 隆弘 氏



いずれの事業も、参加者は熱心に聴講されて実りある内容でした。

これから、社内研修など予定している企業等の皆さんもこの「講師派遣事業」に応募してはいかがでしょうか。詳しくは男女共同参画課までお問合せください。

## TOPICS 2

# いきいき山形男女共同参画プラン実施計画 平成18年度 進ちよく状況調査報告

山形市では、平成13年2月に平成22年を目標とする「いきいき山形男女共同参画プラン」を策定し、プランに示した具体的施策を着実に実行するために、平成22年度までを推進期間として実施計画を策定しています。

実施計画の進ちよく状況は、山形市男女共同参画推進本部が年1回全庁的な調査を行い、自己評価します。

評価の方法は、数値で表すことのできる指標を設定しており、その数値の増減とそれぞれの指標に掲げている数値目標への達成度合により評価しています。主な評価内容は次のとおりです。

### いきいき山形男女共同参画プラン実施計画平成18年度進ちよく状況評価(主な評価)

目標	指標	現状値 (平成17年度)	現状値 (平成18年度)	目標値 (平成22年度)	評価
<b>I 人権の尊重と男女平等の意識を確立します</b>	山形市男女共同参画センター講座受講者数	784人	2,027人 (10周年記念事業の参加者725人含む)	1,330人	男女共同参画センター開館10周年記念事業の開催及び講座内容の充実により、男女共同参画センター講座の受講者数は大幅に増加し、市民の男女共同参画に対する関心や自主的な取り組みの深化・広がりが期待されます。 しかしながら、これまでの意識調査において、固定的な性別役割分担意識に基づく制度や慣習は社会に依然として根強く残っており、男女平等への意識改革を目指す教育・学習を更に推進していく必要があります。
<b>II あらゆる分野に男女共同参画を推進します</b>	市の審議会等における女性委員比率	31.7%	28.9%	40.0%	「市の審議会等における女性委員比率」が平成17年度より2.8ポイント下がり、意思決定過程への女性の参画が進んでいません。平成22年までの目標40%へ向けて、男女の声がともに市政に反映されるよう、一層積極的に女性委員の登用に努める必要があります。
<b>III 働く男女の真のパートナーシップを実現します</b>	保育所入所児童数・待機児童数	入所児童数 2,598人 待機児童数 226人 (4月1日)	入所児童数 2,771人 待機児童数 232人 (4月1日)	待機児童数 0人	保育所の整備により入所児童数が増加し、保育サービスの充実が進められています。 しかし、一方で待機児童数も増えているので、依然として保育サービスの整備が求められており、待機児童0の目標に向けて、なお一層保育需要に対応した取り組みを進めていく必要があります。
<b>IV 健康づくりと自立のための支援を推進します</b>	子宮がん検診の受診者数 (対象：20歳以上の年度内に偶数歳になる女性)	5,281人	10,324人 (隔年実施のため前年度との合計)	3%増 (平成18年度を基準とする)	子宮がん検診等の受診者数について、検診制度の変更により前年度と比較することができませんが、女性の健康づくりと自立にむけては、女性の身体的特性に配慮し、生涯を通じた心身の健康づくりが大切であるため、目標に向けて、更に取り組みを進めていく必要があります。
<b>V みんなの力で計画を推進します</b>	男女共同参画センター登録団体数	98団体	100団体	105団体	みんなの力で計画を推進するためには、市民や団体等との連携が必要ですが、男女共同参画センター登録団体がやや増加していることから、男女共同参画のまちづくりに向けて、団体の育成と相互交流が僅かであるが促進されていると考えられます。今後とも、団体の育成・支援に取り組み、計画の理念の普及・啓発を推進する必要があります。